

NEWS

KIRPイベント前半戦報告

- 京都府立大学では、2004年から、**地域貢献型特別研究(府大ACTR)**に取り組んでいます。



府大ACTRとは?

ACTRは、Academic Contribution To Region の略で、「地域に貢献する学術研究」を意味します。京都府内の市町村、府内に立地する企業、NPO等から寄せられた地域課題の提案に基づき、本学教員とマッチングが成立した研究に対して、学内外の審査員による審査会を経て決定しています。

▶オープンキャンパスにおける府大 ACTR パネル展

2025年7月19日(土)、20日(日)

京都府立大学 稲盛記念会館 207 講義室

詳細は[こちら](#)



【1日目】農学食科学部・生命理工情報学部・環境科学部 来場者数：約150名

【2日目】文学部・社会科学部 来場者数：約340名



▶第2回地域交流フォーラム

2025年9月22日(月)

第1部：13:30～14:20

第2部：14:30～15:30

京都府立京都学・歴彩館

詳細は[こちら](#)



【第1部】ポケットセミナー(府大ACTR成果報告)

「学校・地域連携にもとづく夜久野地域の
文化遺産の活用研究」

菱田 哲郎 名誉教授(文学部)

佐々木 尚子 講師(生命環境科学研究科)



【第2部】府大ACTRポスターセッション

教員10名及び学生7名

昨年度に続き、府民向けの府大ACTR成果報告会を開催。第1部の講演では、文理融合の視点から文化遺産研究の新たな展開が紹介され、参加者からは「これまでにない新しさを感じた」と好評を得ました。第2部では、11件の研究について、教員・学生が来場者と活発に意見交換を行いました。

▶京都府立京都学・歴彩館における府大 ACTR パネル展

2025年9月1日（月）～9月30日（火）
平日9時～18時（休館日は除く）

詳細は[こちら](#)



京都府立京都学・歴彩館 1階京都学ラウンジ

来場者：432名

府大 ACTR の研究成果を多くの方に知っていただくために、今年も研究成果パネル展を開催。オープンキャンパスでの展示とは異なり、2024年度の研究成果パネル18点を展示しました。あわせて、研究代表者から紹介いただいた関連図書も手に取れるように配置しました。



府大 ACTR2025 年度活動報告

● 「着地型観光の推進による地域経済の発展」 —井手町における着地型観光の現状分析と今後の展開—

研究代表者：岩松 義秀 客員准教授（公共政策学部）

2025年8月20日

井手町（大正池グリーンパーク他）

詳細は[こちら](#)



着地型観光における宿泊拠点の候補地「大正池グリーンパーク」を視察。続いて、職人たちが集う「たくみの里」を訪問し、それぞれの制作活動についてお話を伺いました。昼食後は、こども向けイベントの開催にも積極的な「ミツワ製作所」と「雅紙管」の両社長から、貴重なヒントをいただくことができました。



●「京丹波町の地域経済構造分析とデジタル地域通貨を用いた域内経済の好循環化に関する研究」

研究代表者：川勝 健志 教授（公共政策学部）

2025年8月7日

京丹波町役場

詳細は[こちら](#)



学生たちも交えてキックオフミーティングを開催。町の財政や地域デジタル通貨「Green Pay」に関するヒアリングが行われました。その後は「デジタル地域通貨コンソーシアム」に参加。学生たちには行政の現場を体感するよい1日となりました。



ACTR その後

●「19世紀末～20世紀初頭のアフリカ・セーシェル諸島における、宮津出身写真師の活動および作品調査とその成果公開」

研究代表者：松田 法子 准教授（生命環境科学研究科）

大阪・関西万博 コモンズA

セーシェルブースにポストカード展示

（4/13～10/13）

詳細は[こちら](#)



大橋甲廣没後100年シンポジウム

＠セーシェル共和国にオンライン登壇（5/23）

